



生駒市総合公園体育施設リニューアル事業基本構想を策定 体育館は令和 13 年に開催予定の国スポ奈良大会にあわせた開設を目指します

本市は、令和 7 年 6 月に生駒市総合公園体育施設リニューアル事業基本構想（以下「基本構想」）を策定しました。

この基本構想は、総合公園体育館の老朽化に伴うリニューアルのあり方等について定めたものです。

なお、総合公園体育館は、令和 13 年度に開催予定の「第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会奈良大会※」にあわせて、令和 12 年度中の開設を目指します。

※本市は、ハンドボールとレスリング競技の会場地に選定されています。



総合公園体育館の現況写真

■ 策定の背景

総合公園体育館（昭和 58 年開設）は、奈良県で実施された第 39 回国民体育大会（わかくさ国体）のハンドボール競技会場として整備されました。年間を通じて、多くの方々に利用いただき、体育館の稼働率は 90%を超えています。

しかしながら、令和 6 年度に「生駒市スポーツ施設整備等に伴う調査」を実施した結果、総合公園体育館の老朽化が進行しており、早急に対策を講じる必要性があることが判明しました。

そのため、総合公園体育館のリニューアルのあり方、また、総合公園体育施設を核とした市内のスポーツ施設等のあり方について、基本構想を策定し、令和 7 年 6 月に取りまとめました。

今後、この基本構想を踏まえて基本計画を策定し、総合公園体育施設のリニューアル事業を実施する予定です。



リニューアル基本構想
の詳細はこちらから

■ 調査により明らかになった総合公園体育館の主な課題

- 老朽化により構造耐力上懸念のあるクラックが多数あること
 - 不同沈下（建物が部分的に沈んでいる状態）の可能性
- ⇒改修するよりも新たな体育館を建設したほうが、安全性の面から、また、市の負担額が少なくなることからも、総合公園体育施設内に建て替えることがもっとも適しているとの結論になりました。
- その他の課題
 - ・観覧席を含む施設全体に対する空調整備がなく、近年の猛暑により館内温度の上昇が課題
 - ・バリアフリー対応が十分ではないこと
 - ・一部の競技において正式なコート規格を満たしていないこと
 - ・観覧席不足や施設全体の駐車場不足などにより、県レベルの大会開催が困難 等

■ 新たな総合公園体育館が有する機能

前述の課題に対応するほか、以下のような機能を検討しています。

- ① 防災拠点としての機能：近年、各地で大雨による河川の氾濫や土砂災害が発生し、本市においてもいつどこで被害が発生してもおかしくない状況にあります。今後、大規模地震やその他の災害発生への備えを強化し、市民が安心して安全に暮らせる街を目指し、災害時に対応できる機能を兼ね備えた施設が必要です。
- ② 新たな競技エリアの新設 専用施設の整備が不十分な競技や、ストリートバスケットやスケートボードなどのアーバンスポーツの需要も高まってきていることから、市民や競技団体の意見も踏まえた専用施設エリアの併設も検討します。
- ③ 屋内温水プール：昨今、小中学校のプール授業は、記録的な猛暑により屋外での活動が難しくなっていること、また、施設の老朽化による改修や更新費用、維持管理なども大きな課題となっていることから、周辺小中学校のプール授業も受け入れられる施設の整備を目指します。

■ 今後の流れ（予定）

令和7年9月～令和8年6月	生駒市総合公園リニューアル事業基本計画策定業務（本業務内で、ワークショップやアンケート、パブリックコメントなどを実施予定）
令和8年度頃～	基本設計・実施設計
令和10年度頃～	建築工事開始
令和12年度中	総合公園体育施設リニューアル開設予定
令和13年度	第85回国民スポーツ大会・第30回全国障害者スポーツ大会奈良大会開催予定

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

奈良県生駒市生涯学習部スポーツ振興課（課長 西）☎0743-74-1111（内線 3750）